

教育の目的

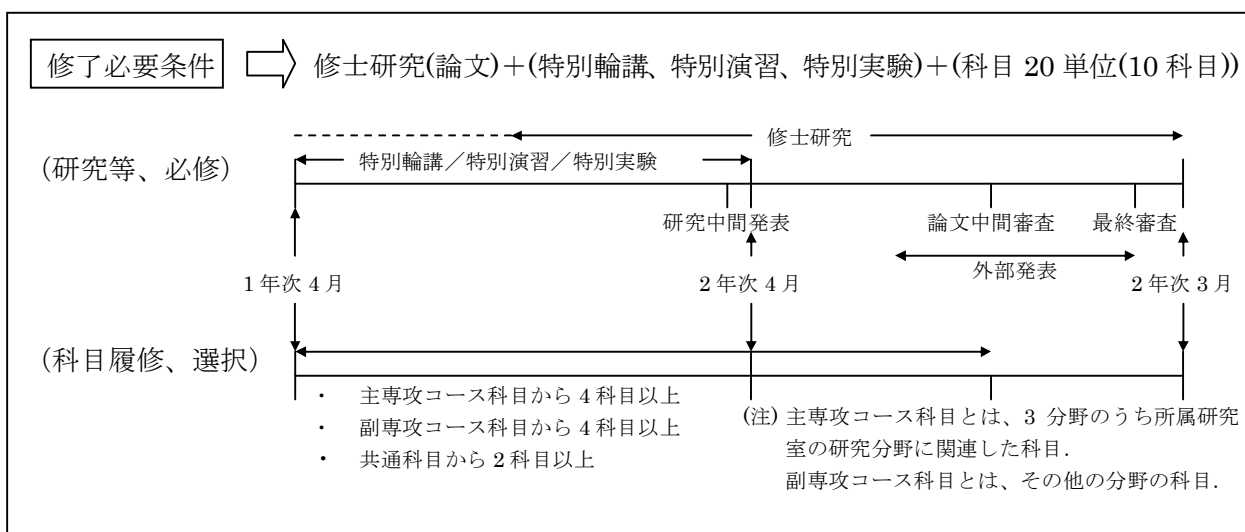
メディア通信工学専攻では、通信、放送、コンピュータ分野、及び、その基盤となるデバイス、回路分野、さらに、複合領域であるヒューマンインターフェース工学分野の教育・研究を充実させ、これらの分野を中心に、社会発展の中核として活躍できる技術者人材の育成を目指しています。また、留学生教育、研究交流を通じての国際貢献、社会人教育を通じての地域社会貢献を行います。

教育プログラム（内容と方法）

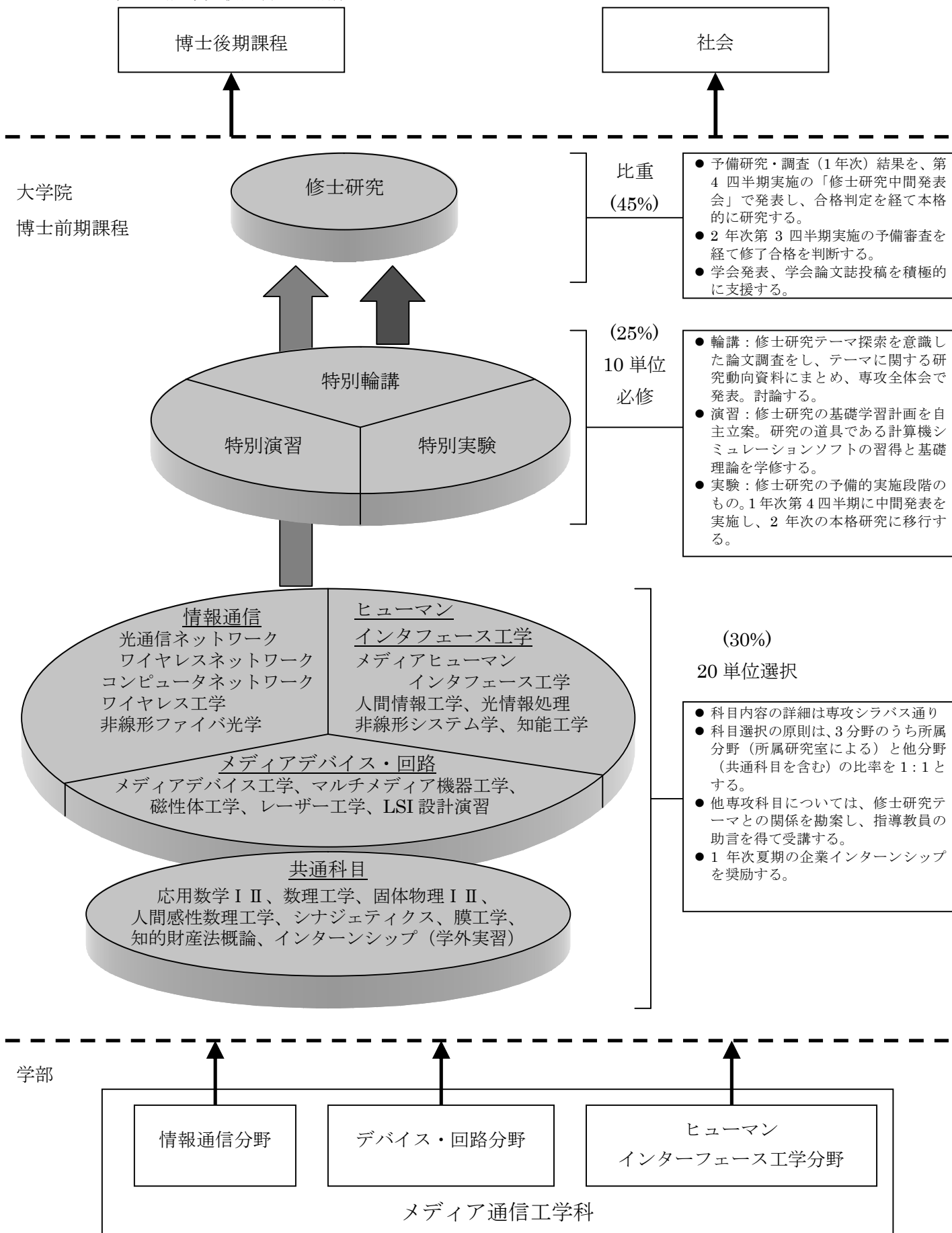
- 内容：① 情報通信、デバイス・回路、ヒューマンインターフェース工学の3分野について、科目は、「基礎的事項から最先端の事項まで」を含む構成とし、講義形式で開講しています。
- ② 特別輪講、特別演習、特別実験では、1年次より所属研究室活動を通じ最先端の研究課題を把握させ、課題解決のための解析技法、測定技法、資料調査技法を習得させます。
- ③ 科目学習、研究室活動の集大成である修士研究を「修士論文」にまとめ、公開します。さらに、学会発表や学術誌論文投稿ができるよう指導します。

- 方法：① 講義科目における学習は、学部科目と基本は同じであるが、授業中における討論、演習、宿題に比重を置きます。成績は、試験やレポートに加え、学生個別のインタビューを実施し、真の学力定着を判断して評価します。
- ② 特別輪講、特別演習、特別実験については、自主的な調査結果を、専攻全体、グループ、研究室単位の討論会で発表し、討論結果を各自の研究に反映させ効果向上を図ります。
- ③ 修士研究は、所属研究室教員の指導に基づき、1年次～2年次を通じて実施し、技術内容とともに論文体裁も評価し、修了可否を判定する。論文は広く公開する。また、在学中に少なくとも1件の学会発表を行うことを基本とします。

履修モデル



メディア通信専攻履修科目の構成



分野	授 業 科 目	単位数	担 当 教 員
メディアシステム学	非線形システム学特論	2	赤 羽 秀 郎
	光情報処理特論	2	鵜 野 克 宏
	レーザー工学特論	2	辻 龍 介
	人間情報工学特論	2	矢 内 浩 文
	ワイヤレス工学特論	2	鹿子嶋 憲 一
	L S I 設計特別演習	2	尾保手 茂 樹
	コンピュータネットワーク特別演習	2	メディア通信工学専攻教員
	知能工学特論	2	上 原 清 彦
メディア機能工学	光通信ネットワーク特論	2	小山田 弥 平
	マルチメディア機器設計特論	2	塚 元 康 輔
	磁性体工学特論	2	杉 田 龍 二
	メディアデバイス工学特論	2	小 峰 啓 史
	メディアヒューマンインターフェース工学特論	2	山 田 光 宏
	非線形ファイバ光学特論	2	中 村 真 毅
	ワイヤレスネットワーク特論	2	梅比良 正 弘
	メディア通信工学専攻学外実習	2	メディア通信工学専攻教員
	知的財産法概論	2	山 本 宏
	◎ メディア通信工学特別実験 I	2	メディア通信工学専攻教員
	◎ メディア通信工学特別実験 II	2	メディア通信工学専攻教員
	◎ メディア通信工学特別演習 I	2	メディア通信工学専攻教員
	◎ メディア通信工学特別演習 II	2	メディア通信工学専攻教員
	◎ メディア通信工学特別輪講	2	メディア通信工学専攻教員
共通	応用数学特論 I	2	岡 裕 和
	応用数学特論 II	2	中 本 律 男
	数理工学特論	2	西 尾 克 義
	固体物理学特論 I	2	田 附 雄 一
	固体物理学特論 II	2	高 橋 東 之
	人間感性数理工学特論	2	湊 淳
	シナジェティックス特論	2	小 澤 哲
	シナジェティックス演習	2	湊 淳
	膜科学特論	2	熊 沢 紀 之
	□ 先端科学トピックス	通年2	
	☆ 工学特論	2	
	工学特別講義 (科目名ごと)	1～4	
	連携大学院客員教員による授業科目	2～6	